

## 平成 22 年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 箇所につき 1 枚)

会 派 名	日本共産党		
事 業 名	先進地視察	山形県 長井市	「生ごみたい肥化事業」について
事 業 区 分	①研究研修		②調査

### 1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田地域広域連合ですすめている資源循環型施設については、候補地がまだ決まらず精力的に事業推進を図っているところだが、同時に、焼却に回すごみそのものの削減は大きな課題となっている。とりわけ、ごみの 8 割をしめる上田市としての課題は、焼却ごみの約 4 割強をしめる生ごみの対処である。

### 2 実施概要

実施日時	視察先	県 市
平成 22 年 11 月 16 日 10 時～12 時 視察後、長井市内のレインボープランにより収穫された野菜を提供しているレストランで昼食をとった。	担当部局	レインボープラン推進協議会事務局員 山本典子氏 レインボープラン推進協議会 公認市民ガイド 渡部嘉子氏

1 市の概要

	人口	面積	財政力指数	高齢化率	議員定数
長井市	30929 人	214.69 km <sup>2</sup>	0.47	27.4%	18
上田市	163651 人	552.00 km <sup>2</sup>	0.66	23.1%	31

2 市の特徴

<別紙、添付資料>

3 視察事項について

<別紙、添付資料>

報 ○長井市レインボープランコンポストセンター前

告  
内  
容



○長井市レインボープランコンポストセンターで説明を受ける



\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

○市民の熱意が大事

この事業が始まるまで、10年もの市民運動があった。との説明を聞き、行政任せではだめで市民運動や協力がなければ、なかなか難しい事業と感じた。

○民間の力が継続の力

昨年から市役所の事業から離れたため、レインボープラン推進協議会が主体となっている。

この事業を継続させていくためには、行政だけでなくかかわっている市民の力が必要と感じました。市役所から分離したということもあり、今回の視察は有料でした10人まで1万円ということでしたが、レインボープラン推進協議会、公認市民ガイド渡部嘉子氏には、懇切丁寧に熱心に説明を受けました。

○レインボープランはごみ処理事業ではない

このことを聞いて、ハットしました。視察するまでは、その発端や経過がわからずごみの減量化の一環だと考えていましたが、そうではないことがわかりました。

- ・地域づくり事業
- ・循環の事業
- ・住民自治推進の事業

だとの説明でした。

○良いたい肥にするには、ごみの出し方が大事

- ・ワックスや腐ったもの、塩分のある漬物などは、良いたい肥にならず、燃えるごみとして出してもらっている。なんども分別が大事ですね。

○レインボープランのきっかけは、市長と菅野さんとの出会いから

- ・この事業が始まったのは、市長と有機農業をすすめる菅野さんとの出会いから始まったとのことです。やはり、最初に理想と見識があり、熱心な人がリーダーとして必要です。

○上田市で、この長井市の「レインボープラン」を取り入れることができるかは、行政だけでなく、生ごみを出す市民や有機たい肥を利用する農家などのネットワークづくりが必要かと思います。